

「目論見書」の概要

応募者	目指すスーパー中枢港湾像	目標貨物量	念頭におかれている次世代高規格 CT	主な広域連携施策
東京都	既存ストックを活用した「マーケット立地型」スーパー中枢港湾の育成	300～360万 TEU / 年	青海コンテナ埠頭 大井コンテナ埠頭	・各港間の横待ち対策(トレーラーの夜間シャトル便、海上輸送)
横浜市	東アジア地域のハブポート	350万 TEU / 年	本牧(BC、D突堤) 大黒(期地区) 南本牧(MC1、2)	・施設使用手続きなどの共通化・IT化(シングルウィンドー、物流情報プラットフォーム)
川崎市	東京、横浜と機能分担した「マーケット立地型」スーパー中枢港湾の育成	100万 TEU / 年以上(長期目標)	東扇島地区(長期目標)	・危機管理のためのバックアップ体制の整備等
名古屋市	日本の産業ハブ・中部地域の国際競争力を支えるゲートウェイ港湾の整備	100万 TEU / 年(飛島埠頭南 CT のみの目標)	飛島埠頭南 CT	・大規模災害への対応 ・プラットフォーム構築によるIT化等
四日市市	伊勢湾における2ゲートウェイ構想の実現	50万 TEU / 年	霞ヶ浦北(W80、81)	・情報、事故、災害時への対応 ・港湾アクセス等
神戸市・ 大阪市 連合	神戸港及び大阪港の広域連携によるマーケット立地型スーパー中枢港湾の育成	湾全体で400万 TEU / 年以上(神戸290万 TEU / 年、大阪195万 TEU / 年)	ポートアイランド2期 六甲アイランド 夢洲(C10、11、12)	・IT化による手続きの一元化 ・内航フィーダーの活用等
北九州市	環黄海圏ハブポートを目指すチャレンジャー型スーパー中枢港湾の育成	100万 TEU / 年	ひびきコンテナターミナル	・ポートセールス、コスト削減などの共同取り組み
福岡市	北部九州地域経済ブロックの国際ゲートウェイ港湾の整備	100万 TEU / 年程度(中期目標)～200万 TEU / 年程度(長期目標)	アイランドシティ 香椎パークポート	・広域交通ネットワーク形成 ・危機管理のバックアップ体制の整備等